

【新】「認知症とともに暮らす地域あんしん事業（仮称）」の実施について

事業の概要（案）

【目的】 認知症になっても地域で安心して暮らすことができるよう、「認知症の人の在宅生活継続を支援するケアモデル事業」（平成28～29年度実施）の成果を都内に広く普及・推進することにより、認知症の初期（MCIを含む）から中・重度までの段階に応じて、地域において適切な支援が受けられる体制を構築する。

【事業内容】 区市町村が実施するア又はイの事業の経費を補助する。

ア 認知症地域支援推進事業

大規模団地等において、認知症支援の拠点を設置し、認知症とともに暮らす地域づくりに向けた取組を実施

- ① 地域における支援の担い手の育成・支援（担い手育成研修、情報交換会開催 等）
- ② 多職種協働の推進（認知症サポート医との連携体制づくり 等）
- ③ 初期段階の認知症の人の把握・支援（無料健康相談会、認知症リハビリテーション教室開催 等）

＜補助基準額等＞ 1区市町村当たり 11百万円（補助率10/10）

イ 認知症ケアプログラム推進事業

認知症の行動・心理症状の改善が期待される「日本版BPSDケアプログラム」を地域内の介護事業所等に普及

- ① 介護事業所等への導入促進（活用事業所の募集、導入経費の支援 等）
- ② BPSDケアプログラムの運用支援（アドミニストレーター研修、交流会開催 等）

＜補助基準額等＞ 1区市町村当たり 9百万円（補助率10/10）

※ 上記事業を実施する区市町村には、必要に応じて、都の研究機関による技術的サポートを実施（東京都委託事業）

ア：（地独）東京都健康長寿医療センターが地域支援推進員向け研修の開催、アドバイザー派遣等を実施

イ：（公財）東京都医学総合研究所がオンラインシステムの運用、インストラクター養成研修の開催等を実施

【実施期間】 平成30年度～平成32年度（3か年）

【平成30年度予算措置額】 208,041千円（実施規模：12区市町村）